

1年	科目	美術	実習	後期	担当	長谷川 将文 HASEGAWA Masatake
全学科共通		Art	選択	1履修単位		
授業の概要						
<p>芸術は人生にうらおいを与え、人格に深みを付加する。美術の授業では実技での基本技術と観察力を養い、また、絵画を化学的に解析したり、描き方から飾り方までの知識を学習する。</p>						
本校学習・教育目標(本科のみ)		目標	説明			
		1	技術者の社会的役割と責任を自覚する態度			
		2	自然科学の成果を社会の要請に応じて応用する能力			
		3	工学技術の専門的知識を創造的に活用する能力			
		4	豊かな国際感覚とコミュニケーション能力			
	○	5	実践的技術者として計画的に自己研鑽を継続する姿勢			
プログラム学習・教育目標 (プログラム対象科目のみ)	実践指針 (プログラム対象科目のみ)			実践指針のレベル (プログラム対象科目のみ)		
授業目標						
<p>美に対して感動と喜び、興味をもつことを目標とする。</p>						
授業計画						
第1回	ガイダンス	絵の種類と技法				
第2回	実技	デッサン				
第3回	同上	同上				
第4回	同上	同上				
第5回	同上	風景画				
第6回	同上	同上				
第7回	同上	同上				
第8回	同上	遠近法				
第9回	同上	同上				
第10回	同上	同上				
第11回	同上	デザイン着彩				
第12回	同上	同上				
第13回	同上	同上				
第14回	同上	紙立体				
第15回	学年末試験 まとめ					
評価方法 と基準	実技の課題制作60%、レポート等の提出物10%、受講態度30%として評価、60点以上を合格とする。					
教科書等	資料プリント、スケッチブック(A3サイズ)、ポスターカラーもしくはアクリルガッシュ、鉛筆(4B)、練り消しゴム、色鉛筆、筆、パレット、筆洗具(中学で使用していたものでも可)					
備考	1.試験や課題レポート等は、JABEE、大学評価・学位授与機構、文部科学省の教育実施検査に使用することがあります。 2.授業参観される教員は当該授業が行われる少なくとも1週間前に教科目担当教員へ連絡してください。					